

ワークショップを体験して

大塚 茜

私は二月十九日ワークショップを体験しました。私はまず職場体験学習の報告をステージの上でやりました。報告会では、事前に職場体験についての作文とスタディノートを作らなければいけなかったのが大変でした。職場体験は夏休みにやったことなので覚えていたかどうかわ配でしたが、作文を書き始めてみると細かいことまで覚えていて、意外と

すぐにできました。本番ではとても緊張していましたが、自分なりによくできましたと思います。次に、パネルディスカッションをやりました。働くってなんだろうというのに、ついて私は、生きていくために必要なことだと思っと思っています。でも今実際に働いている人の話をきくと、その他にもたくさん働く意味があることが分かりました。次に、ゲルマゲインスカッシュションをしました。私はまず、あんあんランドの二ろに行きました。二の

仕事で大切なことは、コミュニケーションと
体力がそうです。コミュニケーションは、動
物と接するときだけでなく、人とのコミュニ
ケーションも大事だそうです。二つ目の体力
は、動物の世話をする体力と仕事を続ける体
力がそうです。とくに、たくさんの動物のゴ
はんを運ぶときなどに必要です。次に、ビル
メンテナンスのお話を聞きました。仕事の内
容だけでなく、日常生活に近いことまで話し
てくれました。

私はこのワーカーサミットで、働くことは生
きていくためだけじゃなく、お金をもらうた
めや、人を喜ばすためなんだということが分
かりました。

ワークサミットを体験して

二年二組 串田 弘貴

僕は二月十九日のワークサミットを通し

て、いろいろいるなことを学びました。

一つは、仕事の大切さです。パネルデイ

カッシーンで言っていたように、仕事は生き

るためや家族を養っていくために必ず必要な

ことです。そのためには嫌な仕事やつらい

仕事も乗り越えなければいけないというこ

とも学びました。

二つ目は、自分が思っていた仕事の他にも

たくさんあることをやっているとこういうこと

です。第一部の広告代理店さんでは、パソコン

ここで広告を作るだけでなく、家具をデザイ

ンしたり、自分の絵で展示会を開いていると

言っていました。

第二部の薬剤師さんでは、薬の開発や調

剤だけでなく、薬物乱用キーパーンクを行っ

たり、地震などの災害でけがをしてしまっ

た人がいたら、実際に災害地へ行き、傷の手当

てなどもするそうです。

この他にもたくさんの方の話を学びました。

実際に働いている人の話を聞くことが楽しい

ことがある反面、つらいこともたくさんある

そうです。でも、つらいことがあるから楽し

いことがあると思います。

自分が大人になって働くときには、このこ

とを活かしていきたいと思います。

串田弘貴

ワークサミットを終えて

稲葉 あかり

私は、このワークサミットでたくさんの方とを学びました。

まず一つ目は、働くとはどういうことなのかを知りました。生活のため、家族のため、

いろいろな意味があるというのを知りました。二つ目は、仕事の大変さです。

わんわんランドの人もまずは体力がないとやっていけない、と言っていていました。エサや

動物の移動など、とても大変な仕事をしていらっしゃるんだな、とあらためてわかりました。

三つ目は、お客さんへの思いです。ビルのそうじなどをする人が寝てる時

もお客さまのことを考えてると聞きました。最初は、少しおどろいたけど、その人が、

考えれば考えるほど、お客さまの気持ちが変わると、いうのを聞いて、とても感動しました。

他にもたくさんの方のことを学びました。わんわんランドでは、小犬はあまりさわ

ワークショップ

小松崎 翔

僕は、2月19日に職場体験学習をやりました。

まず最初に報告発表会を行い各代表の生徒が8月に行った職場体験について学んだことを発表したり心がけていることや仕事に対する責任、自格などたくさん発表を聞けたりすごく良い事を学べたと思いました。

次にパネルディスカッションをやりました。代表の生徒が職場で働いている人に疑問に思っていることや質問をして知らなかったことや不思議に思っていたことがきくと学べたと思います。

最後に職種に分かれました。僕の職種はドックコミュニティーサロン。僕の職種はとビルメンテナンス業のもるという所に行きました。第一部はドックコミュニティーサロン。第二部はドックコミュニティーサロンに行きました。分かったことは、犬が好きだからではなく人とのコミュニケーション

す。ピザをつくったりきったりするの
 十四分くらいかかるそうです。その間配達
 する人は地図でここからデリバリーに行く
 場所をキエックしてやるようです。一日に電話
 オーダーは平日で五十から六十件 休日だ
 と百件にもなるそうです。

第2部に話を聞いたのが 筑波マネジメ
 ントコンサルティングです。保険に
 関係する仕事
 事です。話を聞いておきたことは、保険に
 にはいっていいかは、国が7割を負担してくる

るそうです。私は保険にははいっていただけ
 がいいたと思います。
 私は、仕事をするとキは、チャムと自分で
 責任を考えた方がよいと思いた。

ワ、ワサミツトを終えて

岡野 貴大

二月十九日、豊里中でワークショップがあ
りました。

ワークショップとは仕事のことについて話
会でまず最初に職場体験発表者による発表
表をききました。いろいろな職業の話をし
たので自分たちが行った職場と比べられたり
してよかったです。それにやっぱりこの職業
でもそういやあいつなどが大事というこ
と

がよくわかりました。

次に六人から十人ぐらいのグループにわか
れて講師の先生の話をしきました。

僕が話をききたいところは物質・材料

研究機構というところと鯖井会社というところ

です。

最初に話をききたいたのは物質・材料研

究機構です。そこではどういう物質・材料の

ヤいで事故がおこったのかを調べようとい

物質にすれば事故がおこらなくなるとい

調べるところです。話をきいててすごいと思

ったのはロケット隊墜落の事故でその隊墜落の原

因がエンジンのターボポンプにできた長さ0

・15ミリメートル深さ0・01ミリメートル

ルの傷だったという事です。

次の会社では税理士・税金のこゝにっりて

話してくれました。話をきいておもしろいこと

は税金でハナ三北田国がもってりることです

です。

今回のワークショップで仕事の大変さやた

のしさを学びました。

ワイワサミッ トの感想 諸君 大輝

僕けワイワサミッ トも通じて働くという事は大変だかやりかいはある仕事はかりだという事を学びました。

最初に行った報告発表では、僕は「パイストフード店」のインターナショナルキッズのしか行っていたので、農家を始めとするいろいろな職種について学びました。

次に行った「カルトデザイン」では非破壊検査と呼ばれる物を壊さずに内部の検査

をしていいる会社「エースビルド」有と、CMでも有名さかうかがえる、建築会社である「タイワハウス工業」株といっただ方々のお話を聞きました。そこで、非破壊検査をしていければ防げた事故が外国には多数ある事や、住宅を作るまでに必要な段回、接客のテクニックニッワ（笑）などのたくさんさんの情報を知る事ができました。その話の中でも、勉強になった事が二つあります。一つは、熱でどこか壊れやすいかを調べられるところです。これ

は、とくしりなカメラを用いる方法で、温度
が高いほど危険だそうですね。もう一つは、建
築士というのには階級があり、一級建築士
のようにはそれを取扱するためには、たくさ
んの努力が必要という事と、一級以上は建て
られる高さの制限が無いのに対し、二級以下
は在り以下の高さしか建築できないと言っ
たのでおとろきました。

最後のパネルディスカッションでは、生徒

代表の二人と司会の野田先生ロータリークラ

フのお二人方のおもしろいながらもきちん
まとまったいい会議の様子がみられて、イ
アスつくはで働く方法も分かったし良かった
のではないかと思えます。

今後の進路に今回の事を生かしていったら
と思えます。

ワークサミットに参加して

二年 判崎 敦

僕も 二月十九日にワークサミットに参加

しました。職業発表会からグループ別デク

スカッションまで全二時間かかった。

まず始めに、職場体験発表でした。全

十人の人が夏休み、職場体験にいったこの

発表発表をしました。僕が一番心に残った発

表は、農業を体験した人の発表でした。今、

農業で働く人は減っている中で、農業を体験

したことはすごくいい体験だと思いました。

発表発表が終わった後は、パネルディスカッ

ションでした。生徒代表がユ人で働いている

大人の人に、質問をしていくという物でした。

働いている人は、仕事は楽しいと思っ

て仕事は楽しいと思っ

て仕事は楽しいと思っ

て仕事は楽しいと思っ

て仕事は楽しいと思っ

て仕事は楽しいと思っ

た。

二つ目に話を聞いたことでは、税理士について話を聞きました。税理士とは、国の税金の相談なども受けたりする仕事です。税理士になるには、税理士試験に合格して、一年以上の実務経験者になってはじめて、この仕事の内容を聞いてみる内に、税金についても頭を使う仕事だと思えました。このくらい将来にす

ワークサミットを体験して

前田 優希

ワークサミットを通じ、心に残ったことは
二つあります。

一つ目は、職場体験発表会にフリてです。

僕は上から照明で照らしながら聞いていた
ので、どの発表者も自分の行った店にフ
いての紹介をとってもがんばって発表してしま
した。特に興味を持った職場は、鈴木君が発
表していた農家の仕事です。発表を聞いてい

て分かった事は、農家の仕事は、自分の好き

なだけ野菜を作っていていられるという事であ

さらに、食料自給率も高いという事です。農

家というよりは、意外に魅力的な仕事だという

事です。

二つ目は、その職場にいらっしゃる人の話を聞いた

事です。

僕は最初、非破壊検査の人の話を聞いたの

ですが、非破壊検査とはどういうものなのか

この器具は、どう使うのかなどのいろいろな事をくわ

しく教えてもらいました。非破壊検査の人の
 話が終わり、次にダイワハウスの入の話を聞
 きました。建物の出ま上がるまでの作業や
 建築士になるための資格のとり方を、と
 てもていねいに教えてくれました。話をし
 くれた人は一級建築士で、その一級建築士の
 テストに合格した時の賞状も見せてもらいま
 した。とてもかっこよかったです。自分も建
 築士になつてみようかな。と思ひました。一
 番おどろいたのは、その人の助手の人と、自
 分の祖母の誕生日が一緒だ。たという事であ
 り、いろんな人の話を聞いて、自分の将来を考
 え直あことができて、とても良かったです。

ワークショップを終えて

中野 美香

2月19日 木曜日のち 6時間目にワークショップ

ミットがありました。自分が知りたい職業や

他の人の職場体験の発表などを聞いて学んだ

事がたくさんあります。

まずは、職場体験の発表を聞きました。体

験したところは違いますが、学んだ事はほとん

どみんな同じでした。一番に大切なのは、あ

いさつです。あいさつをする事によってコミュ

ニケーションもとることが出来ます。あとは

笑顔で接客する、賞品をキレイに並べるなど

いろいろな学ぶ事ができました。やっぱり、あ

いさつは一番に大切なななと思っていました。

次は移動して自分の場所へ行きました。卒業

1部は、牛タシヤト。カミヤという所です。

社長さんから話を聞きました。分かった事は

牛タシヤトは日本で初めてワインを作った

所という事です。あとは自分の話を一生懸命

して、いて、ワインについて話してはあんまり知る事

ができながったのです。ざんねん。昔の事に
 ついて熱く語っていたので昔は働くのが当
 たり前という事も知りました。第2部はヒザ
 バットなので移動しました。ヒザハットの社
 長さんから話をいろいろと聞きました。分ち
 た事はたくさんあります。ヒザハットの「ハッ
 ト」は山小屋という意味です。ヒザハットは最
 初、山小屋みたいな場所です。ヒザハットは最
 ら「ヒッセ」という名前をヒザハットに付け
 たそうです。配ったなどは五分で行ける距離
 までしか無理
 だそうです。どうしても食べたい場合は車
 間ち合わせもOKです。だいたい女子はヒザ
 リで男子が配ったそうです。やっぱりおい
 さつが大切だそうです。朝昼夜もおはよう
 ございます。とあいさつをするそうです。仕
 事のやりがいはいは「ヒザ」ラエりおいし
 いか
 お客様さんが言うてくれる事など。ヒザ
 ライバル意識してます。w
 ワークサミットで学んだ事はたくさんある
 けど、それを今後の生活や将来にやくだ
 たい。

ワークサミット

大野 慶晃

僕はワークサミットを通して、実際に働いて

いる人の意見を聞き、僕の中の「働く」と

いうイメージがつかまりました。

僕が体験した職業は幼稚園と日本サポート

ミスドーナツという所の話をきかしてもらいました。

た。

僕が幼稚園の先生の話をきいて何か「たこ

とほ、二つあります。

一つ目は幼稚園の先生に在るにはどのような

在勉強が必要ですか。幼稚園の先生は幼稚園

教諭免許状を、保育士は、保育士資格証明書

を必要とします。その為には短大・4年生の大

学、専門学校などで勉強します。

学校で決められた単位を取得し、教育実習

を済ませること、卒業と同時に、資格も得られ

ます。4年生の大学に比べて、短大や専門学

校は2年間で免許を取得するので、時間的に

はハードです。

二つ目は幼稚園とはどんななところかです

幼稚園は学校教育の始まりの場所。生まれて

初めて社会生活をするところでもあります

自分とは違う友達と遊びを通して関わり、

ぶつかり合い、仲良くなり、人間として自

在していくための大切な物と身につけていく

ことです

先には子どもたちが遊びの環境を整

えて、その中で一緒に遊んだり楽しく遊べ

るようには援助します。

次に日本サポートシステムで分かったこと

です。僕が日本サポートシステムの人がいう話

を聞いて分かったことは三つあります。

一つ目は着地点を“FA&LA”として日

本変化する技術に挑戦していることです。

二つ目はスピード、コスト、革新をバにお

客様本位のものづくりの成長をおこなった

ることです。

三つ目は“ものづくり”を左右するテクノロジー

とワークし、作業環境の質を高めることで

す

このことを時采にいかせぬば
いれいと思ひま

した

ワークサミットを体験して

柳沢 夏希

私は、ワークサミットで第一部は日本サポ

ートシステム 第二部では土浦タクシ

ードシステム事業部ロガートロヴィ

の業社の方のお話を聞きました。

第一部の日本サポートシステムは第二

業のものの作りの会社で、カメラを

の機械のけんさもする道具をつくら

だそうです。サポーター、如工する

組み

立てる人などで役割があり命担して

事をすすめていこうです。お話をし

た井田さんは物は人間の生活をより

に、快適にすごすためのものであ

れが目的かあると教わりました。日

本は

第二次産業（物作り）を得意とする

国だが、

グローバル化がすすんでいて現

社がぶねていと言っています。私

日本は優秀な技術をもっている

頭張って世界へ出て負けないよ

いってほしいって思いました。

第二部のフードシステムピザトドVは

ピザもつくって子供ピザ店です。ピザハット

トはアメリカからうまれたそうです。Pizza Hutの

Hutは山小屋という意味で最初は山小屋みたい

に小さな所まで来たから二人の名前にはち

たんだけあってピザハットの方が言っていてまし

た。この店では26人はたらいでいる人がい

ますがそのうち25人はアルビノで社員は1

人だけだそう。男の子は18人、女の子は7人

で世の子はバガ作り。男の子ははいちの仕

事をしていてそう。この仕事では、あ

なフ外一番大切だそう。私も部活であ

いさうはきちんとしてやらなくていいと教え

てもらったので、あんなにやる気があ

く分かります。楽しんでやることがある仕事

が一番いいよ。ピザハットの私が教えてくれ

ました。私も大きくなったらピザハットでア

ルバイトでもしてみたいなと思いました。

ワークショップ

森田 瞳

二月十九日の五、六時間目にワークショップ
トを行いました。

最初に行った発表会では、和が職場体験場
所とは違うモットーが聞きました。私は、一

つーつの仕事で、やっぱりモットーや心がまえ
が違うんだね、一人一人、気をひきしめて行

っているんだとつくづく思いました。
次に行ったパネルディスカッションでは、

ロリタリクラブの代表の方の話聞きまじ
た。まだ子供は私たちがはわからないうことや

将来、役に立ちそうなことをたくさんお伝え
てもらいました。この時、私は仕事は本当

に大事なものだ、甘くみずはいけなうと感心
しながら聞いていました。生徒代表の人の質

問が自分の聞ききたかった質問に比べていたため
疑問が解けて少しすっきりしました。ロリタ

リクラブの人の話もとても楽しく聞けて、
将来に向けてのいい勉強になったと思います。

石野田 瞳

最後にグリープ別のパネルディスプレイ
 ンを行いました。私は、大和ハウス工業株式
 会社へインターンシップとインターンシップ
 マンダリーナのアパートでパネルディスプレイ
 カンパニーをしました。
 大和ハウスさんでは、インターンの建設へ
 Gもや今までに来たお客様の数、インターンの
 坪をききました。大和ハウスの話で分か
 ったことは、お客さまに気持ちよく、おちつ
 けるお店にする事です。でもその店がうま
 くやつてくにはいろいろ調査が必要で調査の
 結果、インターン2号店がつくばに建設される
 ことが決定されたそうです。
 インターンさんでは、薬剤師にたい
 して学びました。薬剤師は責任が重く、重大な
 仕事だという事がわかりました。
 このワークシートで学んだことを生か
 して将来、就職に役立てようと思います。

ワークショップを終えて

岡本 駿

2月19日の5時6時時間目にワークショップ

を行いました。ワークショップは、職場体

験報告発表会とパネルディスカッションとグ

ループ別ディスカッションを行いました。

まず職場体験報告発表会では8人の職場体

験で体験してきた事を聞きました。体験した

場所は様々で、農家やライオン、皆葉自動

車などでしました。それぞれの職場で行った仕事

を聞きました。それぞれ色々な仕事内容だっ

たけれど、全員に共通して、あいさつやそうじ

をしたと言っていたので、改めてあいさつや

そうじの大切さを学びました。

次にパネルディスカッションを行いました。

テーマはつくばの総支配人の高柳さんと皆葉

自動車の社長の皆葉さんの話を聞きました。

仕事の大切さ、大変な事やなぜその仕事を選

んだかなどためになる事を色々聞きました。

パネルディスカッションで聞いた事をこねか

らの人生にいかしていきたくて

最後にグリープ別デイスカッ

ました。グリープ別デイスカッ

部て2部に分かれていて、1部は

ワンランドの仕事について、2部

はともると

いうビスマンテナンスの仕事に

ついて聞きました。

1部では動物と接する仕事でも

人と

コミコニケーションをとらない

といけない

精神的にも肉体的にも体力が必

要だという事

を学びました。2部ではビルの

メンテナンス

は年々人が減ってきて、勤務時

間は増えるのに

給料は上がらないという現在の

仕事の大変さを

学びました。

ワークシャットで学んだ事をい

かして、自

分のつきたい職業につけるよう

にしたいと

ぞす。

ワークショップをして

二年二組 坪井 美里

私は、ワークショップを体験して思ったこ

とがいくつあります。

一つ目は、職場体験学習の報告発表につい

てです。8人の発表を聞いていてほとんど

の人が一日目はなかなか慣れないと言っ

てました。やっぱり体験するとなると、きんち

ょうしてたりしてしまうので、初めのうちは

慣れないんだなと思いました。

二つ目は、グループ別ディスカッションに

ついてです。私は、(株)ともろとつくばワ

ニワニランドの場所に行ってきました。とも

ろでは、ビルの建設などについて話を聞いて

きました。そこで田口さんからたくさんの事

を教えるもらいました。ビルの建設の事以外

にも、働くという事も教えました。

つくばワニランドでは、関根さんが犬

を七匹も連れてきてくれて、犬を使いながら色

々なことを教えてくれました。話の中で一番

頭に残っているのは、動物が好きだけどはいけない。飼主さんとのコミュニケーションも必要。という事です。動物の仕事でも、人との関係も大切にしなければならぬといラことが話を聞いてお分かりました。

私はワイクサミットを通して、「働く」という意味や大切さを改めておかることができました。このワイクサミットでたくさんの人達に教えてもらったことを、将来につなげられるようにしたいです。私はこのような企画

が、なつて良かったなつて思いました。

ワークサミット

二年 吉田 明日香

私はワークサミットを体験してみて分かった事があります。

まず一つ目は、あいさつが大切ということです。店員さんの方は、いらっしゃいませいやーありがとうございます。を言うけれどお客様も、お店の人に対して、ありがとうございます。などというとお店の人はとてもうれしいようです。

二つ目は、笑顔です。接客業はとくに、笑顔が大切だということが分かりました。確かに、お店の人が無表情でいるところを私は見ることがありません。お店の人が笑顔で、あいさつをしてくれると何かうれしくなります。どのお店の人も、笑顔とあいさつは基本と

言っています。後、お店の人が一番うれしい時は、お金をもらった時です。自分達が出したせいかやした事がお金で返ってくるからだ

言っていました。

グリープ別デイスカッションでは、私は

鯨井会計さんと看護師さんところへ行きました。

鯨井会計さんでは税理士とは、これについての話

を聞きました。税理士とは、税金の計算や、

社長などにアドバイスなどをする人だと言っ

ていました。はいか以上のものを店さんに提

せし、そのお客さんがお金を払ってくれる

というのはい、よろこんでくれたということだ

と、いましました。

看護師さんのは、一番大事なものは、確実な

知識が大事だといっています。確実な知識

がないと患者さんを助けてあげられないから、

す。後、患者さんにとって安全、楽なのが、い

いといっています。どんな仕事も楽しいとい

思っています。事が大切だと助産師さんも、いっ

いきました。

やっぱり、ほとんどのお店は、笑顔とあい

こつを忘れず、お客さんのたち場に寄り、考

えるのが大切なんだと分かりました。

717サミットを体験して
 僕も717サミットで体験した
 会社
 ありませう
 一ツは、会計事務所です
 税金などについてのお話を
 聞きました
 お話でわかたことはいく
 ちもありません
 まづ、税金は国や地方公共
 団体が公共費に充てられて
 いることだということです
 税理士になるには
 三ツ条件があります
 一、は税理士
 試験に合格し、二年以上の
 実務経験者
 次に二
 十三年以上税務署に勤務し、
 指定研修を修了
 した
 国税従事者として、公認
 会計士として
 護士として三ツ条件が充
 てられています
 税理士には様々な税務の
 知識が求められます
 理士として、税務に関する
 専門知識として
 務者の信頼にこたえ、税金
 の申告・申請
 税務書類の作成、税法、
 税に
 審査手続も行っていきます

吉田 圭吾

次に広告代理店を体験させていたいただきました。その中でも教えていただいたさまざまな例は、美術学校で学んだことが役に立ちました。経験をしたほうがいかなる仕事もかかるとは思いません。また、このワークショップで今までよりも自分の将来について考えることができたと思います。

ワークサミットを行って

伊藤 有紀

私は、ワークサミットを通して、実際に働

いている人の意見を聞き、私の中の「働くし

ていうイメージが、働くことは大変なことだ

というイメージから、働くことはやりがい

あつてとても楽しいことなんだというイメージ

に変わりました。

私はまず初めに、イーアスつくばの総支配

人の高柳さんのお話を聞きました。――

の――は独自性、知性、――は快適性、――は共存

で――いい明日」という意味を込めてつけたそ

うです。イーアスは「家族想いの施設」とい

うコンセプトの北関東最大級のショッピング

センターで、一日に平日で約二万人、土日

で約四〜五万人の人が訪れるそうです。そん

なにごとが大勢の人が利用しているという

人たちが気を付けていることは、お客様が、

どんなにわがままでも、それをわがままと

考えず、対応の仕方を考えて接客をすること

だと、高柳さんはおっしゃっていました。

次に、鯨井会計の鯨井さんにお話を聞きました。今の税金の問題や、これから課題な
ど、税金についてくわしく教えていただけました。また、鯨井会計はさまざまな部門に組織化されており、相乗効果としてスタッフの育成やモチベーションアップにつなげていけるとおっしゃっていました。この仕事をしていて一番大切なことは、金額の問題ではない。お客様の満足度の問題だということだそうです。

私は、様々な分野で働く人たちの話を聞き働くことを大変だと思わずにやりがいのあらゆる仕事だと思えば、どんな仕事も楽しくなるんだというところが分かりました。そして、お話を聞いていて、ほとんどの人が、あいさつや礼儀が大事だと言っていました。私も普段からあいさつや礼儀を怠りず、将来に生かしてあげたいなと思います。